

日本タイクラブ<第8回>公開フォーラム

タイは私をなぜ虜にしたのか？

【テーマ】

チェンマイ

バンコクから離れること約720キロ。タイ北端の最大都市「チェンマイ」は、だれもが訪れたい観光地としてよく知られています。風光明媚で気候も良く、西にドーイ・ステープの山並、東にピン川を配した城壁都市は、今でも残る外堀や城門、城壁、さらには独特の美しさを擁する寺院などと相まって、訪れた人々を魅了します。焼き物や織物をはじめとした伝統的工芸品店で、民族衣装を身に着けた売り子さんに、この地方独特の言葉（カム・ムアン）で呼びかけられると、ついつい財布の紐が緩んでしまいます。また、今では、リタイアされた方々の長期滞在地としても有名で、大勢の日本人が暮らしています。

しかし、そのチェンマイについて少し突っ込まれると、私たちは実際にはあまり知らないことに気がつきます。「古都」であったと聞いたことはあるのですが、一体いつの時代、どこの国の都であったのか答えられません。また、周囲の山地に住む山岳民族と呼ばれる人と、平地のタイ人とのあまりにもの違いもよくわかりません。近隣のラムパーンやラムプーンとの関係もはっきり理解できません。

もっとも不可解なのは、バンコク（中部タイ）とチェンマイの寺院の風景の差です。たとえば、ワット・プラケーオとワット・スワンドークの違いは同じ文化とは思えません。チェンマイは本当にタイなのでしょうか。

今年の公開フォーラムの目的は、「チェンマイを解きほぐす」です。チェンマイについて、徹底的に話し合いたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

【ディスカッサント】

川嶋 辰彦 (学習院大学名誉教授)

高井 康弘 (大谷大学教授)

岡部真由美 (中京大学准教授)

【コーディネーター・趣旨説明】

赤木 攻 (日本タイクラブ代表)

【日 時】 2018年 7月 1日 [日]
13:45 開会 (受付開始13:15)

【会 場】 佐治敬三メモリアルホール
大阪大学中之島センター10階
(大阪市北区中之島4-3-53)

<最寄り駅> 裏面参照

中之島駅より 徒歩約5分 / 阪神本線 福島駅より 徒歩約9分
JR 東西線 新福島駅より 徒歩約9分 / 環状線 福島駅より 徒歩約12分
大阪メトロ (地下鉄) 四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分
大阪メトロ (地下鉄) 御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩約16分

【参加費】 2,000円 お土産あり

お申込みは、住所・氏名・電話番号を添えて、メールまたはFAXで日本タイクラブ事務局までお願いします。なお、参加費は当日お支払いください。

<電子メール> nihonthaiclub@gmail.com

<FAX> 075-721-8427

【主 催】 日本タイクラブ

【後 援】 タイ王国大阪総領事館

公益財団法人 日本タイ協会

国際ソロプチミスト 大阪一りんくう (順不同)



日本タイクラブ

タイは私をなぜ虜にしたのか？

日本タイクラブ<第8回>公開フォーラム

2018年7月1日〔日〕13:45 開会 (受付開始13:15)
佐治敬三メモリアルホール (大阪市北区中之島4-3-53)

【テーマ】

チエンマイ

【フォーラム・ディスカッション・プロフィール】

川嶋辰彦 学習院大学名誉教授



東京大学経済学部卒業、ペンシルヴァニア大学大学院 Ph. D. in Regional Science、同大学院地域科学部専任講師、学習院大学経済学部助教授、同教授。この間、国際応用システム分析研究機構 (IIASA:所在地 オーストリア) 主任研究員、応用地域学会 (ARSC) 会長、学習院海外協力研修プログラム (GONGOVA) 責任者 (1997年～現在)。研究分野は空間経済学、計量経学、ODA・NGO論、ヴォランタリズム論。

赤木 攻 [コーディネーター・趣旨説明]

日本タイクラブ代表



大阪外国語大学でタイ語を学び、卒業後、チューラーロンコーン大学に留学する。帰国後、母校で教鞭をとる。学長を経て2004年4月から大阪外国語大学名誉教授。専門はタイ地域研究。チューラーロンコーン大学、タマサート大学の客員講師、在タイ日本大使館専門調査員などを務める。「タイ事典」編集者。日本タイ学会元会長、泰国猛虎会日本代表。大阪観光大学学長。

高井康弘 大谷大学教授



1980年に初めてタイを訪ねる。1985～87年、チエンマイ大学社会科学部留学。同期間に農村に住み、宗教儀礼・家族・生業等について社会学・人類学的調査をおこなう。1990年より京都の大谷大学文学部社会学科教員。タイおよびラオスにほぼ毎年通い、地域社会変動、家畜飼養・流通、精霊儀礼など宗教実践に関する調査を続けている。

岡部真由美 中京大学准教授



2000年頃より、タイの仏教に関心をもち、都市的環境における寺院の研究を始める。2004年から約2年間チエンマイに滞在。滞在中はチエンマイ大学 RCSD (Regional Center for Social Science and Sustainable Development) に在籍し、チエンマイ都市部および近郊において寺院のフィールドワークを実施。その後ほぼ毎年チエンマイを訪れているが、近年は特に、ミャンマー・シャン州からの越境労働者に着目した調査研究を進めている。現在、中京大学現代社会学部国際文化専攻准教授。



木本壽美恵 [総司会]
日本タイクラブ筆頭副代表

【プログラム】

13:15 受付開始

13:45 開会

フォーラム・ディスカッション
(合間に30分程度の交流・歓談)

16:30 閉会

【参加お申込み】

お申込みは、住所・氏名・電話番号を添えて、メールまたはFAXで日本タイクラブ事務局までお願いします。
なお、参加費は当日お支払いください。

【電子メール】 nihonthaiclub@gmail.com

【FAX】 075-721-8427

【会場案内図】

